運輸部会「夏季研修会」

研修日程： 2024年9月10日　研修参加者： 千田省一

研修場所： 石川県金沢市

当社では、「夏季研修会」を通じて同じ物流業界の先進的な取り組みを学び、社員の成長を促しています。今年は石川県金沢市に拠点を構える物流会社(株)ツカサを訪問し、坂池克彦社長から貴重なお話を伺いました。

働きやすさを追求する企業文化

坂池社長が掲げる「社員とその家族が夢と誇りを持てる物流会社」という経営理念は、同社の成長の原動力となっています。「女性や高齢者、外国人でも働きやすい職場なら、誰にとっても働きやすいはず」という考えのもと、働きやすさを徹底的に追求。企業としての魅力を高めるため、【品質向上委員会】を設立し、職場環境の改善と社員同士の情報共有を進めています。

安全への取り組みと職場の一体感

同社の特徴的な取り組みの一つが、「ツカサの3ルール」です。

① 輪止め

② ライトオン

③ 後方確認

これらの安全対策を徹底し、重大事故の防止に成功しています。また、社員間の一体感を高めるため、「ありがとう日報」や「ドリームマップ」などの工夫が施され、LINEを使って「ありがとう」を共有する仕組みが導入されています。

運輸部会「夏季研修会」

さらに、リレーマラソンやスポーツイベントを通じて、チームの絆を深める機会も設けられています。

働きがいと成長機会を提供する制度

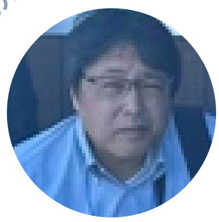
物流業界では「体ひとつで稼ぐ」というイメージが強い中、(株)ツカサは「職人」から「会社員」へと意識を変えるために「定期昇給」や「人事評価制度」を導入。さらに、研修や資格取得支援、表彰制度を通じて社員の成長をサポートしています。若手社員とベテラン社員のギャップを埋めるため、社員が「仕事を通じて成長し、社会に貢献できる」と誇れる環境作りに力を入れている点も大変印象的でした。

企業の未来を見据えた経営

坂池社長は、「働く人から選ばれる会社でなければ生き残れない」という信念のもと、企業改革を進めています。「結果を出すことの大切さ」や「必要な投資を行うために稼ぐことの重要性」を強調されており、常に未来を見据えた経営判断をされている姿勢には、学ぶべき点が多くありました。

(株)ツカサの取り組みは、物流業界だけでなく、すべての企業にとって参考となるものでした。社員の成長と働きやすさを大切にする姿勢を学び、私たちもさらなる改善に取り組んでいきます。

今回の記事について



夏季研修会の参加者

三栄運輸㈱総務部長　千田省一

記事の内容

愛知経協力　2024.10記事
運輸部会「夏季研修会」～選ばれる会社になるために～
より抜粋して作成